



参画だよ

NO. 26
006. 2. 24

弘前市民参画センター

平成17年度第2回男女共同参画推進セミナー

それぞれの個性を活かせる職場環境を！

日産自動車株では、社員の性別・国籍・文化、それぞれの個性・価値観などの多様性を理解し、活用するために、職場環境を整えることを目的とした新部門を設立。そこでダイバーシティ(多様性)を推進しています。



「企業はダイバーシティの推進をしましょう」と話す吉丸さん

平成17年12月17日、弘前市民参画センターにおいて、年度第2回男女共同参画推進セミナー「多様性を活かして職場をいきいきさせるために」と題する開催されました。講師は、日産自動車株式会社ダイバー・シティディベロップメントオフィス室長の吉丸由紀子さん。この部門は、社員の性別・国籍・文化の違いを理解し、それぞれの個性を活用でき

的として、平成16年に新設されました。吉丸さんは、危機的状況にあつた日産が、「ゴーン社長の改革によってV字回復をなしとげた過程をグラフで示し、その成長を持続するためのキー「ワードが「ダイバー・シティの推進」であると説明。ダイバー・シティとは、日本語でいうと「多様性」です。日産が目指すダイバー・シティは、性別・国籍・年齢などの違いからいろいろな価値観をもつ人の意見がぶつかりあい、影響しあって相乗効果を生み出すこと。その摩擦がより高い価値を創造する、というのがゴーン社長の考え方です。

吉丸さんは、日産が経営戦略としてダイバー・シティを推進する大きな理由のひとつとして、顧客のニーズが多様化してきたことを挙げました。「近年、女性が自動車購入時の意思決定に大きくかかわるようになり、女性を意識した車づくりが求められています。しかし、日産の女性社員の割合は6%も満たない状況。このままでは

女性の能力活用を推進することで業績UP!



カルロス・ゴーン社長の元、日産自動車がおこなった「職場改革」に聞き入る来場者

顧客の要望に応えられない、との経営陣の危機意識から、この一年、市場調査や製造部門の担当者たちは、女性を登用し、女性や家族にとつて使いやすい自動車の開発を進めてきました。その成果が徐々に表れてきたところです」と現在の日産の状況を説明したあと、具体的なオフィスの取り組みについて紹介しました。

するため、育児支援が急務と考
えています。育児休業期間の延長、事業所内託児所の設置、短時間勤務制度など、社員の要望に合わせた支援策の整備を進め、女性にとっても男性にとっても働きやすい職場環境を目指しています。こうしたさまざま
な取り組みを活かすためには、社内での理解を得ていくことも必要。フォーラムやパネルディスカッションを開催し

日産が目指すのは、単に女性を増やすことではありません。経済産業省の調査で、ある割合までは女性が多い企業ほど利益率が高い、という結果も出ています。しかし女性が100%になればもっと業績が上がるのか、というと決してそうではない。数の問題ではなく、女性が活躍できる風土、女性を受け入れていこう、という風土こそが企業の業績に影響を与えているのではないか、というのが経済産業省のまとめであり、私たちも同意見です。女性の能力活用を進める通じて、個々の違いを活かせるような組織になつていきたい、というのが日産の目指す姿です。

セミナー後半では、かけはし役を務めた弘前市民会館長の田中弘子さんや参加者から出された質問に吉丸さんが丁寧に回答し、参加者は多様性推進の理解を深めました。

「ジェンダーってなあに?」

弘前市男女共同参画推進活動講座

受講生 三浦 幸子



男女共同参画推進活動講座の発表会
寸劇について発表する三浦さん



講生として企画しました。
今回は三浦さんに寸劇のこと
や、普段の活動についてお聞きし
ました。

寸劇には川柳が使われていま
すが、川柳には以前から親しんでい
るのですか?

「今回初めてつくりました。今ま
ではもっぱら友達が詠んだのを聞
くだけで、講座で男女共同参画の
ための企画をする、ということで
その人のことを思い出し、普段自
分が感じていることをそのまま川
柳にぶつけてみたんです」

「ジェンダーについては以前から

ご存知でしたか?

「今回の講座に参加して初めて知
りました。今まで自分が疑問に思
ついたことがこういう言葉で説
明できるんだ、ということを知り、
目の前がぱっと開けたような気が
しました」

「妻は家事だけしていれば
いい」「結婚して家庭に入る娘には
学問は不要」という考え方を持つ
夫が、娘の説得によって徐々に妻
の再就職を応援する気になつてい
く様子を「ミカル」に描いたもの
で、脚本・演出・主演を務めたの
は、三浦幸子さん。今年度の弘前
市主催、NPO法人青森県男女共
同参画研究所企画・運営の「弘前
市男女共同参画推進活動講座」受
講生としてなあに?」



交流まつりで行われた寸劇
会場は笑いの渦に



「自分の夫や父親です。単語でし
かしゃべらないとか、話しかけて
もろくに返事をしないとか。でも
夫はすこしずつ変わってきたか
な。夫に『ビール!』って言われ
たびに、『ビールがなに?』その
となんて言うの?」と言い返し
たんです。そのうち自分で黙つて
取りに行くようになりましたよ。
男の人は、『わざわざ言わなくても
わかるだろう』と勝手に決めつけ
ている節がありますよね。当然、
長い間一緒にいればわかってくる
こともありますけれど、それでもきち
んと言葉にしてほしい、と私は思
います。気持ちを言葉で表す努力
をしてほしいんですよ。『以心伝心
それって言葉を奪うもの?』とい
う川柳にはそんな思いがこもって
います」

「自分のかしゃべらないとか、話しかけて
もろくに返事をしないとか。でも
夫はすこしずつ変わってきたか
な。夫に『ビール!』って言われ
たびに、『ビールがなに?』その
となんて言うの?』と言い返し
たんです。そのうち自分で黙つて
取りに行くようになりましたよ。
男の人は、『わざわざ言わなくても
わかるだろう』と勝手に決めつけ
ている節がありますよね。当然、
長い間一緒にいればわかってくる
こともありますけれど、それでもきち
んと言葉にしてほしい、と私は思
います。気持ちを言葉で表す努力
をしてほしいんですよ。『以心伝心
それって言葉を奪うもの?』とい
う川柳にはそんな思いがこもって
います」

「人形劇団つがる」というグル
ープで、津軽弁による人形劇をして
います。各地の公民館や幼稚園・
保育園で公演を行うほか、県の人
形劇まつりや弘前市民文化祭など
にも参加しています。今回の川柳
劇で夫役をしてくれた男性は、こ
の人物劇での仲間なんですよ。今
年は劇団創立40周年で、記念公演
もあるのでぜひお越しください」

「そのほか、ねぷた、マラソン、
町内会など、幅広く活動の場を持
っているパワフルな三浦さん。ご
自身も好きだという、「楽しみなが
らがんばる」という言葉がとても
似合う方でした。講座へ出席して
男女共同参画という新たな視点を得
たことで、今後ますます活躍が
期待できそうです。」

三浦作「ジェンダー川柳」を紹介	ビール 酒 単語で妻を一言使う
なぜ夫は妻を家に置きたがる	迷い箸 食べずに味が分かるのが
夫親娘パワーで大変身	頼まれて 返事しないがやる夫
妻元気 これこそ家が安泰だ	飯支度 それって女の仕事だの?
勉学は男も女も一生です	以心伝心 それって言葉を奪うもの?

さんかくネットつどいの広場



コラムニストの
山田スイッチさん

12月12日、弘前市民参画センターで「さんかくネットつどいの広場パー^{ト2}」が開かれました。これは就学前の子どもを持つ家族に遊び場を提供し、楽



色々なイベントを楽しむ参加者たち

しく遊んだりおしゃべりをしたりしてもらおう」というものです。企画・運営の中心となつたのは、子育てサポートシステム「さんかくネット」と保育サポートサークル「パパークラブル」。子育てサポートの研修を兼ねて昨年9月に実施したイベントが好評だったことを受け、第2弾の開催となりました。

話題が夜泣きのことになる
と、車座になつた参加者がひと
りずつ苦労話や対処法を紹介。
「好きなビデオをみせる」「明
かりをつけて一度起こす」など、
それぞれの工夫が披露され、お互
いの育児法を参考にし
ていきました。

「おしゃべりサロン」の後半
では、平川市在住の舞踏家、雪
雄子さんが、心と体をリラック
スさせるストレッチ法を実演。
山田スイッチさん親子はじめ
て、参加者が、音楽に合わせてゆつ
たり動いて、楽しみながらでき
るストレッチを体験しました。

前回の経験や要望をもとに、プログラムの内容を今回は一新。毎週日曜日に陸奥新報で育児日記を連載中のコラムニスト、山田スイッチさんを招いて、参加者と育児について語り合う「おしゃべりサロン」が開かれました。山田さんは連載記事の読者にはおなじみの「長男、通称「師匠」と一緒に登場。訪れた人たちの注目を浴びていました。

外遊びの回数が減る冬季の開催ということもあり、親子ででかける運動遊びを増やしたのも今回の特色のひとつです。スポーツを通じてさまざまな地域活動をしているNPO法人スポーツト弘前の協力を得て、子どもたちの年齢に合わせた遊びが楽しめるコーナーを設置。廊下を利用してしたカーリングや、新聞紙を好きなように破く遊びが人気を集めていきました。

また、スポーツト弘前の鹿内葵さんが、腕や足の筋力アップにも役立つような運動遊びを指導しました。子どもの筋力がどれくらいあるかの目安にもなるとあつて、参加した保護者たちは子どもの動きに一喜一憂。鹿内さんが「個人差がありますから、今までできなかったといつて心配する必要はありませんよ」と声をかける場面もみられました。この日は約150人が来場し、初冬のひとときをおしゃべりや運動遊びで楽しく過ごしました。



スプネット弘前の
鹿内さん

男女共同参画基本計画（第2次）閣議決定

12月27日政府は、男女共同参画社会の実現に向けて、平成18年から5年間、政府が取り組むべき具体的施策をまとめた「男女共同参画基本計画(第2次)」(以下、2次基本計画)を決定しました。これまでの11の分野に、「新たな取り組みを必要とする分野」が加わり、科学

技術・防災・地域おこし・まちづくり、環境の問題などを提起しています。2次基本計画の構成は、第1部「基本的な考え方と重点項目」、第2部「12分野について、施策の目標、基本的方向(2020年まで)、具体策(2010年まで)」、第3部「推進のための体制整備・強化」です。

重点事項

政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

女性のチャレンジ(再就職・起業等)支援

女性のキャリア（育休・育児休業）支援
雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

男女の職業生活と家庭・地域生活の両立支援と働き方の見直し

新たな分野(科学技術、防災・災害復興等)への取組

男女の性差に応じた的確な医療の推進

男女共同参画社会が男性にもたらす意義の啓発

男女平等を推進する教育・学習の充実

女性に対するあらゆる暴力の根絶

女性に対する暴力の暴力の根絶
農山漁村、メディア等を始めあらゆる分野において
男女共同参画の視点に立って関連施策を立案・実施し、男女共同参画社会の実現を目指す

